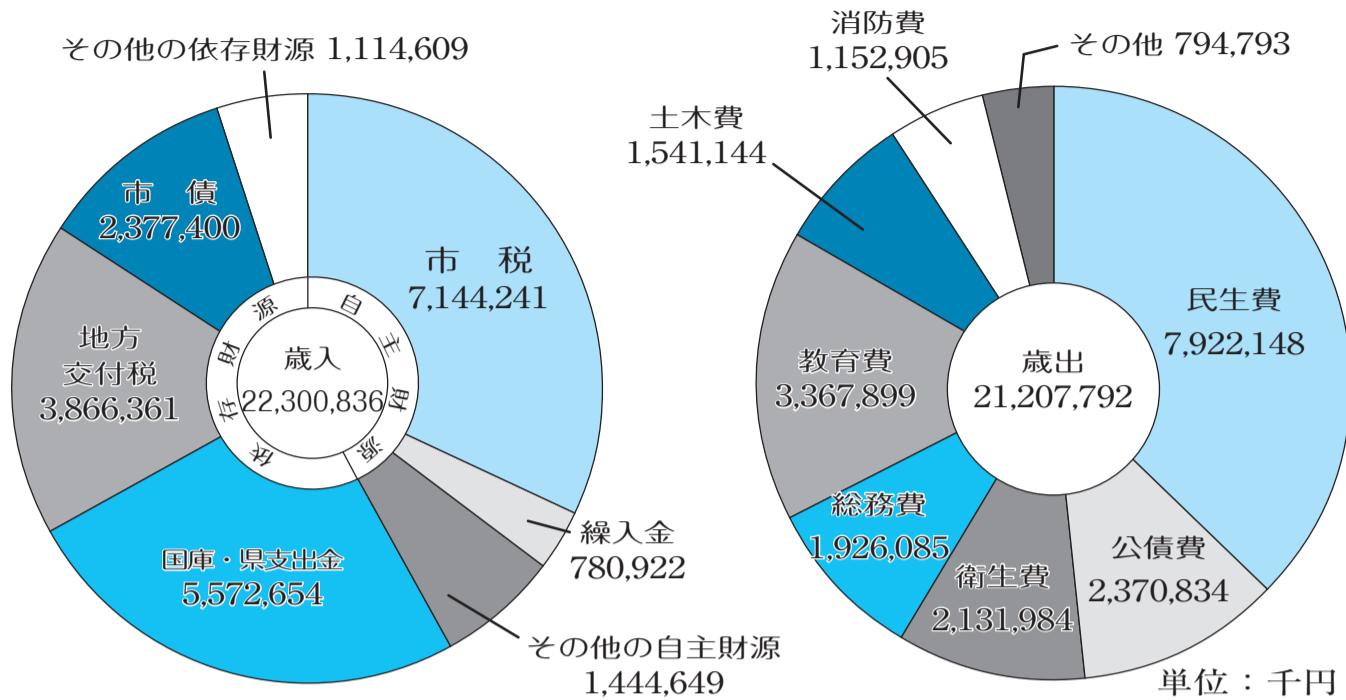


平成26年度決算を公表

記号の見方 時日時 場会場 内内容 対対象 定定員 費参加費 申申し込み 持持ち物 問問い合わせ



本市の財政状況を知っていただくため、平成27年12月市議会定例会で認定された平成26年度決算のうち、市政運営の基本的な経費を計上する一般会計の状況を中心にお知らせします。

財政課
443-1117

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計額が一致しない箇所があります。

特別会計の歳出決算額など

国民健康保険 うち保険給付費	99億3,269万6千円 64億0,120万1千円
後期高齢者医療 うち広域連合納付金	4億1,139万3千円 4億0,537万9千円
介護保険 うち保険給付費	38億3,877万3千円 37億2,838万4千円
下水道事業 水洗化人口	15億0,944万0千円 19,476人
水道事業 給水戸数 給水人口	14億7,265万3千円 14,389戸 38,217人

主な基金の残高状況

一般会計財政調整基金	10億0,568万3千円
塵芥処理施設建設改良基金	658万2千円
し尿処理基金	8万9千円
用排水路建設改良基金	8,275万2千円
教育施設建設改修基金	151万5千円
減債基金	866万6千円
青少年育成基金	993万6千円
地域振興基金	198万2千円
地域福祉基金	2,301万0千円
落花生の郷やちまた 応援寄附金によるまちづくり基金	478万0千円
文化会館建設基金	128万9千円
野球場建設基金	190万0千円
東日本大震災復興基金	412万3千円

【一般会計】平成26年度の歳入総額は23億83万6千円、歳出総額は21億207万7千9百20円、歳入歳出の差引総額は2億625万9千140円となりました。

この中には平成27年度に繰り越した事業費などに充てる財源1億862万7千4百円が含まれています。これを差し引いた実質収支は9億677万円となりました。

【歳入】歳入では、自主財源の中心である市税のうち、たばこ税は減少したものの、その他の市民税や固定資産税等は増加し、前年度と比較して8531万円（1・2%）の増となりました。また、依存財源である地方交付税は前年度と比較して8406万6千円（2・1%）減少したものの、国庫支出金は、朝陽小学校の改築事業に係る国庫補助金や八街かいたく保育園の施設整備に係る県補助金等が増加し、前年度と比較して6億7184万9千円（13・7%）の増となり、歳入全体に占める自主財源の割合は42・0%、依存財源は58・0%となりました。

【歳出】このように、市税は増加した一方、地方交付税は減少したことなどにより、依然として市が独自に活用できる財源を確保することが厳しい状況となりました。このため、市の貯金である各種基金から7億5992万6千円の繰入れ（取り崩し）を行いました。

また、土木費は、榎戸駅整備事業費や大池排水区整備事業一般会計負担金などの増加により、前年度と比較して3450万4千円（2・3%）の増、教育費は朝陽小学校の改築事業や中学校の耐震補強工事等を実施したことなどにより、前年度と比較して12億7312万6千円（60・8%）の増となりました。

【基金残高の状況】基金には、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるものと、特定の目的のために定額の資金を運用するために設けられるものがあります。一般会計に属する主な基金の26年度末の残高状況は左表のとおりです。

【特別会計】特別会計とは、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を行うための会計と、水道や下水道事業など法律により独立採算を原則とする会計をいいます。なお、特別会計における決算の状況は左表のとおりです。

高いものは民生費で、臨時福祉給付金給付事業費や障害者自立支援給付事業費などの増加により、前年度と比較して3億3130万3千円（4・4%）の増となりました。

また、土木費は、榎戸駅整備事業費や大池排水区整備事業一般会計負担金などの増加により、前年度と比較して3450万4千円（2・3%）の増、教育費は朝陽小学校の改築事業や中学校の耐震補強工事等を実施したことなどにより、前年度と比較して12億7312万6千円（60・8%）の増となりました。